

気軽にドイツへ行ってみよう！ Köln ケルン・Aachen アーヘン

春はそこまで来ています。春休みの予定はもうお決まりですか？ 遠くへ行きたいけど、運転手の夫は仕事で忙しい。でも子どもと何かしたいというときに、友だちを誘って出かけてみませんか？ もちろん、ビールを飲みたいご主人も一緒に列車の旅を試みましょう。

列車乗車券購入

ベルギー国鉄のウェブサイト (www.b-europe.com/Travel) で、乗車券を購入しましょう。ウェブサイトの言語は、メイン画面右上で変更できます。まず、メイン画面から片道 (One way) か



往復 (Return) を選択します。次に出発駅名 (Departure station) と到着駅名 (Arrival station、今回はKöln Hbf[De]) を入力し、1等か2等を選びます。そして出発日を入力し、出発時刻か到着時刻を選択し、時間帯を選びます。さらに、乗車人数 (Passengers) を聞かれるので、旅行する家族の人数を指定し、右側の年齢帯を選択した後、下の《SEARCH》をクリックすると、希望時間帯の座席の価格状況が乗車人数分の総額で出てきます。Non Flexは、キャンセルしても払い戻しのない価格。Semi Flexは、一部払い戻してくれる価格。Full Flexは、全額払い戻し可能な価格です。出発日と出発時刻によって様々な価格が設定されていて、少し金額を足したら、1等車に乗って快適な旅を楽しめます。タ



リスの1等車に乗車すると、朝は紅茶・コーヒーとクロワッサン・チョコレートパンなど、夜はビール・ワインやおつまみといった無料のサービスを受けます。

希望の列車を指定したら、右下の赤紫色の《CONFIRM SELECTION》をクリックして、希望の列車の乗車内容を確認します。ウェブサイトからの乗車券は記名式なので、乗車する人の氏名を入力します。氏名はパスポートに記載されている名前を入力してください。その後《NEXT STEP》をクリックし、支払い画面に移ります。支払い画面では、顧客のデータとして氏名とメールアドレスを入力します。支払い方法も選択し (クレジットカードやバンコンタクトなど)、《Terms and conditions》にレ点を入力して、右下赤紫色の《GO TO PAYMENT》をクリックし、支払いをします。乗

車券は、支払い後にPDF文書として画面上にアップして印刷したり、後から送られてくるコンファームメールから印刷し、当日持参します。ベルギーに長期滞在者として居住している方は、あくまでも外国人なのでパスポートを忘れずに持参しましょう。今回は、ブリュッセル→ケルン、ケルン→アーヘン、アーヘン→ブリュッセルの乗車券を購入しました (以上は、2015年1月現在のウェブページの情報に沿った解説です。レイアウトなどが変更されることがあります)。

ケルン(Köln)

ケルンに一泊して、翌日午後にアーヘンを観光して帰るコースを紹介します。

ブリュッセルからタリスで2時間弱で到着するケルンの駅前には世界遺産のケルン大聖堂があり、美術館、ライン川なども徒歩圏内にあるので、観光には便利です。到着したら、まずホテルに荷物を預けて、観光に行きましょう。

大聖堂や美術館・博物館などの情報は、ガイドブックにお任せして、ほかにも是非訪れていただきたい施設があります。



1979年に設立されたケルン市ナチス記録センターです。外観は市役所の建物といういでたちですが、実は1935~1945年にゲシュタポ (秘密国家警察) のケルン支局が置かれていたところです。何とこの建物の地下にはユダヤ人を収容した監獄があり、犠牲者をしのぶとともに、ケルンにおけるナチズムの歴史を研究・紹介しています。

地下1・2階の監獄は、天井の低い、とても狭い部屋で、当時の悲惨な状態が伝わってきます。壁には収容されていたユダヤ人の捕まったときの怒りや悲しみ、家族へのメッセージ、後から収容される人への励ましの言葉などが刻まれています。収容者はここで亡くなったり、アウシュビッツ (ポーランド) へ移送されたりしました。幸運にも終戦まで生き残り解放された人が、苦しい目に遭った監獄を再び訪れたときの写真も展示してあります。

和食レストラン 従業員募集

ブリュッセルの和食レストランが、日本人、または日本語の話せる人を探しています。

料理のできる方、給仕のできる方。
フルタイム、ハーフタイム、短時間勤務など
ご希望に合わせます。

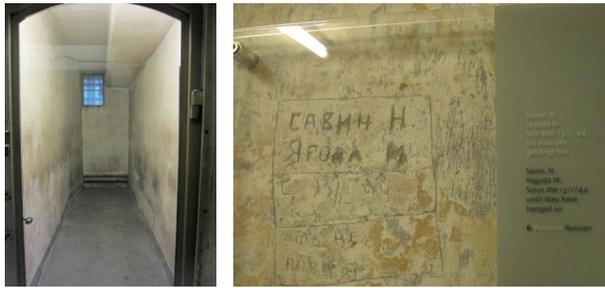
詳細は ☎0479 79 94 70まで (日・英・仏)

Languages Unlimited

英語、フランス語を小グループで母国語の先生が教えます。
商業英語、TOEIC、IELTS、個人レッスン €37/時間

新コース「ヨーロッパで生活」
実用コース：文化、習慣、祭り、歴史、観光
有益なフランス語の文を使いながら英語で授業。
15時間 €225

Avenue de Tervuren 204, 1150 Bruxelles
info@languages-unlimited.be www.languages-unlimited.be



上階には、当時のケルンの市民生活を伝える写真やビデオなどの展示があり、戦争中ながらもささやかな楽しみを見つけて暮らしていた人々の様子を見学できます。オーディオガイド(独・英・仏など、€2)の貸し出しがあり、説明を聞きながら見学すると、さまざまな歴史的事実を発見できます。

NS-Dokumentationszentrum der Stadt Köln
www.museenkoeln.de/ns-dokumentationszentrum
 Appellhofplatz 23-25, 50667 Köln
 火-金10~18h、土・日・祭11~18h、第1木曜(祭日以外)10~22h
 入場料：大人€4.5、学生€2、6歳までの子ども無料

一休みして、ボリュームたっぷりのドイツケーキを味わってみましょう。ドイツ人は、食欲旺盛。だから皆さん大きくなるのでしょね。ホテルの朝食もいろいろな野菜、肉類、チーズなどが用意してあり、我々には朝食兼用として食べるのがちょうどいいかもしれません。ホテルの室内にも飲み物・おつまみのスナック類があり、アペリティフ・ドリンクのサービスもありました。

さて、「オーデコロン」という言葉を耳にしたことのある方は多いはず。そう、有名なオーデコロンは、このケルンが発祥の地なのです。ケルンの



駅にも「Echt Kölnisch Wasser-4711(オーデコロン4711)」と案内がありました。18世紀に誕生したこのコロンは、ケルンがフランス軍に支配されていた時代に、ナポレオンや兵士たちが妻や恋人へのプレゼントとし

て好んで持ち帰ったことから、ドイツのトップブランドとして今でも世界中で親しまれています。ブランド名「4711」は、その時代のフランス軍が割り振った住所表示をそのまま店名にしたそうです。この「4711」の本



店をのぞいて、うわさのコロンの芳香を体験してみてください。店内には、オーデコロンをはじめ、ブランドグッズが販売されています。また、1709年にヨハン・ファリナが初めて発明したオーデコロンの工場兼博物館でも、コロンの歴史を学べます。
House of 4711 www.4711.com
 Glockengasse 4, 50667 Köln
 月-金9h30~18h30、土9h30~18h、日・祝休
Duftmuseum im Farina-Haus(ファリナ・ハウス香水博物館)
<http://farina.org/?lang=en>
 Obenmarspforten 21, 50667 Köln
 月-土10~19h、日11~16h、無休
 入場料：€5(要予約)、ガイドツアーにて見学あり

アーヘン(Aachen)

ケルンを後に、2日目の午後は、アーヘンに行ってみましょう。アーヘンの駅にはコインロッカーがありますので、重い荷物を預け、身軽になって散策に出かけましょう。

8世紀、フランク王国のカルル大帝のお気に入り、王宮が置かれていたアーヘンの歴史は、1世紀ごろまでさかのぼります。当時ローマ人兵士たちは温泉地としてアーヘンを楽しんでいました。アーヘンの名の由来は、古ドイツ語の鉱泉から来ています。カルル大帝が礼拝堂として建てたアーヘン大聖堂は、八角形の丸屋根を持つ、ロマネスク様式とゴシック様式の建物です。ユネスコの世界遺産に登録されている、ヨーロッパ北部で最古の大聖堂です。



水にかかわりのあるこの街には、噴水のついた銅像がいろいろあります。銅像を探しながら散策するのも楽しいですね。この後もう1泊して、リエージュに立ち寄っても、旅の楽しみが広がります。オリジナルの旅を作ってみてください。



海外引越、国内引越、事務所移転も日通へ

ご帰国引越で不要になった家具をご後任、ご友人宅へ
 “おゆずりライナー”で、ご配送いたします。
 そのほか、ピアノの移動、お引越後のハウスクリーニング等
 なんでもご相談ください!!



ベルギー日本通運

NIPPON EXPRESS BELGIUM

Bedrijvenzone Machelen Cargo B738 1830 Machelen, Belgium neb.removal@neur.com

TEL/ 02-751-7814/15 FAX/ 02-751-9246

海運貨物・航空貨物・ロジスティックスも日通へ

<http://www.nittsu.eu/be/>